

各 位

会 社 名 寿製菓株式会社

(URL <http://okashinet.co.jp/>)

代 表 者 名 代表取締役社長 城内正行

## ありがとう半世紀！～神話のお菓子からお菓子の神話へ～

50年前、観光に来られた方へ山陰の神話を伝えたいという想いから『因幡の白うさぎ』は発売されました。昔は名物にうまいものなしと言われるほど、土産菓子は日持ちを優先させた、甘く硬いものが多かったそうです。その感覚を懸念した、寿製菓創設者である、故 河越庄市が、美味しい土産菓子への改良に踏み切りました。当時は生産、営業ともに大変な苦勞をしたようですが、失敗を重ねながらも、美味しい因幡の白うさぎを作り上げました。それ以降も『美味しさの追求』を何度も繰り返し、今尚、シンカを続けています。



その因幡の白うさぎが永年、山陰名菓として愛されたのも地元山陰の方々に支えられてきたおかげです。今まで支えてくださった地域の方に感謝をしたいという想いで、地元にしかならないコトとして『白うさぎ一座』を発足いたしました。幼稚園や保育園を中心に、因幡の白うさぎの紙芝居、大黒様の歌で踊る体操、そしてうさぎまんじゅうの目つけ体験を行っております。

因幡の白うさぎという神話は、人を騙して利用してはいけない、という大切な意味が含まれています。神話を通して、人の気持ちを考える、優しい子になってほしいと願っています。我々も、小さな手にのったおまんじゅうを見ると、お菓子ひとつひとつの大切さを身にしみて感じ、安心安全でさらに喜ばれる美味しいお菓子づくりへの追求を続けられます。今は活動の幅を広げ、大型スーパーや旅館などにも活動の幅を広げております。



12月20日発売

また、もっとたくさんの方にこの神話を広めたい想いで、生誕50年を記念して、絵本作家 武内祐人さんとのコラボパッケージを作成しました。

武内さんは活き活きとした画風、表情豊かな動物の絵が特徴で、皆生幼稚園の壁画や、国語の教科書の表紙の絵など、多岐にわたり活躍されています。コラボパッケージにはサメにのったうさぎが夢（風船）を持って、冒険へでる、因幡の白うさぎ生誕100周年へむけてのチャレンジを含めています。

この商品を手にとった方が、『このうさぎはどこへ行くのだろうか？』『サメと仲直りしたのかな』と、想像し、自分だけの物語を作ってもらいたいです。

『神話のお菓子からお菓子の神話へ』この半世紀は100年への折り返し地点です。神話のお菓子が100年の歳月を経て神話となるように幾多のご縁に感謝し、さらに喜んでいただける『因幡の白うさぎ』を追求してまいります。



【本リリースに関しての問合せ先】 寿製菓株式会社 山陰営業部 マネージャー 足達 将行

鳥取県米子市旗ヶ崎 2028/TEL:0859-22-7456(代表)E-mail:madachi@kozuchi-net.jp

以上